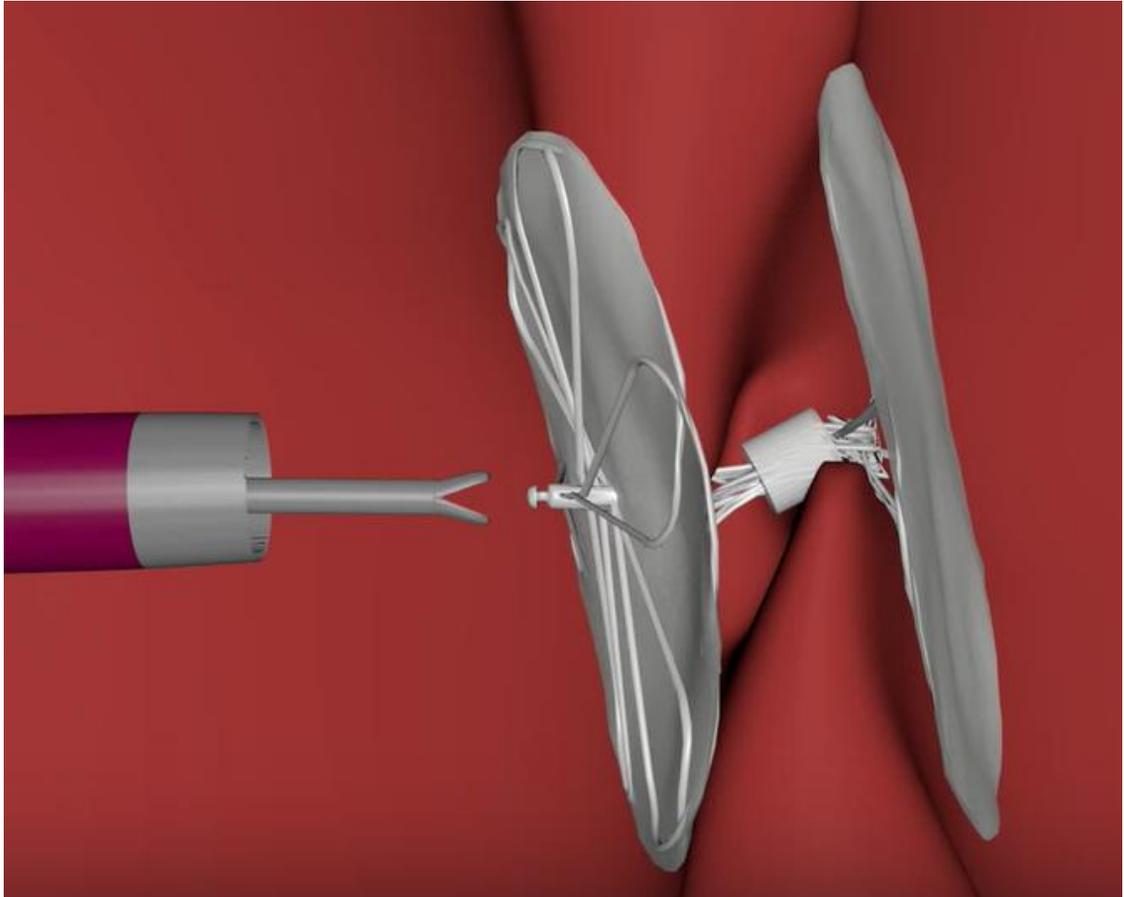


HEART NEWS

大阪市立総合医療センター循環器センター

Vol. 30

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



卵円孔開存は、成人の約25%に存在する異常です。心房中隔欠損はないのですが、一次中隔と二次中隔の癒合が不完全で先天的に残ってしまっている間隙が卵円孔開存です。静脈系塞栓子が卵円孔開存を通過して左心へ迷入すると、奇異性脳塞栓症を生じ得ることが問題です。昨年、これを防ぐためにカテーテル的卵円孔閉鎖術（上図）が有効だとする論文が立て続けに発表されました（Sondergaard L, et al. N Engl J Med 2017, Mas JL, et al. N Engl J Med 2017）。非常に驚きましたが、つい最近も、卵円孔開存が非心臓手術における周術期脳梗塞のリスクであるとする論文が発表されました（Ng PY, et al. 2018 JAMA）。今後卵円孔開存が大きな治療対象になる可能性があります。たびたびこのHeart Newsで紹介をしてきたパラダイム・シフトの一つだと思えます。

まだまだ厳しい寒さが続く毎日ですが、地域医療機関の先生方はいかがお過ごしでしょうか。ハートニュースは創刊から5年がたちました。

2015年11月から開始した発作性心房細動に対する不整脈治療である心筋冷凍焼灼術（クライオアブレーション）、2016年4月からの重症大動脈弁狭窄症の治療法である経カテーテル的大動脈弁置換術（Transcatheter Aortic Valve Implantation: TAVI）そして2017年6月からは、急増する心不全患者に対しての「大阪心不全地域医療連携の会」開催など、時代のニーズにできるだけ迅速に対応できるよう心がけてきました。

今回のVol.30では、2017年における当院循環器センターの取り組み実績と新年度にむけた取り組みをご案内いたします。

今後も、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。

大阪市立総合医療センター 循環器センター長

循環器内科部長 成子 隆彦

特集：循環器センター 2017年を振り返って

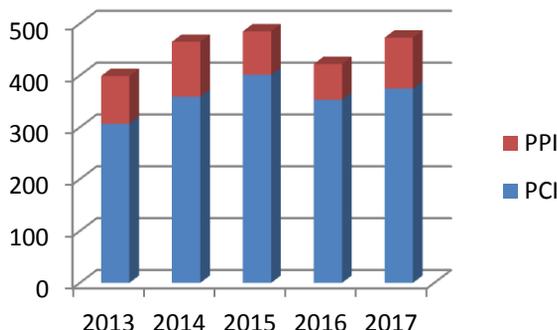
循環器内科の2017年の実績

成子隆彦がセンター長として循環器センターを運営しています。地域医療機関のご協力のおかげでハートラインの件数も順調に増加しています。

今後も地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対してもレベルの高い医療を提供できるよう、なお一層努力したいと思っております。

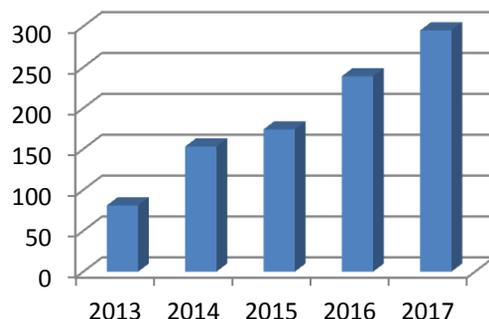
心臓カテーテル部門

成子、松本、仲川、松下、加川が中心となっており、心臓カテーテル治療(PCI)と下肢治療(PPI)の総数は、昨年より増加しています。もちろん虚血評価目的のFFR(冠血流予備量比)を77例施行、心筋生検も40例施行しています。2016年4月より開始しました経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)も計46例施行し、順調に増加しています。



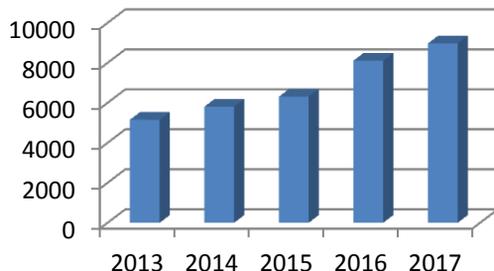
不整脈治療部門

占野、松尾、中達が中心となりアブレーション治療の件数は順調に増加し、295例行っています。中でも心房細動のアブレーション治療の件数は223例施行されました。心臓デバイスでは、永久ペースメーカーや植え込み型除細動器、両室ペーシングを含め計100例行っています。また一昨年より植込み可能となった皮下植込み型除細動器に加え、リードレスペースメーカーの植込みが可能となりました。



心臓超音波検査部門

阿部、松村、野村と生理検査技師が中心となって頑張ってくれました。昨年成人心臓超音波検査数は、8972例に増加しています。経食道エコー検査も396例と増加し、特に弁膜症については、他のどの施設よりも精度の高い診断を行っていると思っております。



循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川	成子
	交代制 (ペースメーカー)				

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本 林(不整脈)
午後			占野(不整脈)		松本(TAVI)

心臓血管外科の2017年の実績

2017年度手術実績は例年通り200例以上の心大血管手術を行うことができました。2016年4月より経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）を開始し、2017年末までに計67例に対して治療を行い、手術成績は良好です。また、通常の開胸・開腹の人工血管置換術に加えて、ハイブリッド手術室を利用して胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療を積極的に行っております。

2017年心臓大血管外科手術（224例）

虚血性心疾患（単独CABG）：33例
 弁膜症：130例（うちCABG併施11例、TAVI 46例）
 胸部大動脈瘤：50例（うちステントグラフト治療14例）
 先天性心疾患：6例
 その他：5例

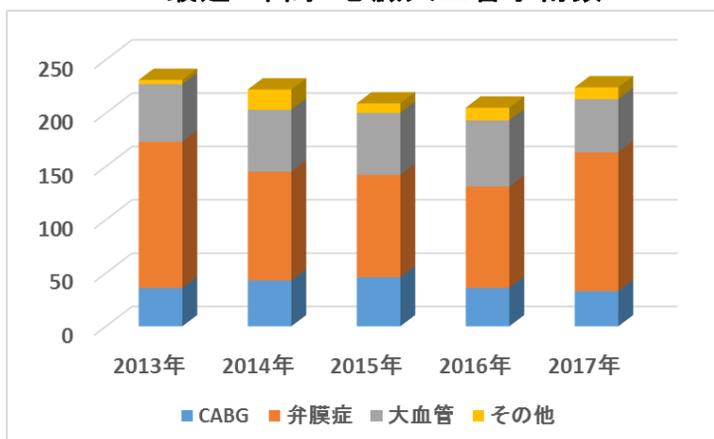
2017年末梢血管手術数（64例）

腹部大動脈瘤：47例（うちステントグラフト治療28例）
 末梢血管：17例

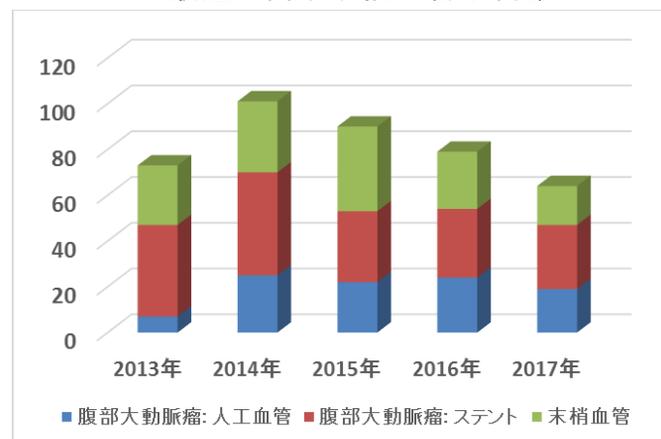
2018年の予定

今年度も高齢化社会で増加している大動脈弁狭窄症にたいする手術加療（TAVI or AVR）を積極的に行ってまいります。循環器センターのハートラインの利用が増加しており、ハートライン経由の緊急患者はほぼ100%の受け入れができております。また、胸部・腹部大動脈瘤破裂症例に対する緊急ステントグラフト内挿術も積極的に行っております。引き続きハートラインを通して、緊急症例の受け入れを行い、地域医療に対して貢献してまいりたいと思っております。

最近5年間 心臓大血管手術数



最近5年間 末梢血管手術数



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤
午後	青山	佐々木	阪口	佐々木	尾藤

診察予約（地域医療連携室）

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

月曜～金曜 8:45～20:00

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究いづれもが欠けることのないように力を入れています。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。

今回は、2月に開催された日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)の近畿地方会において、期待の若手である豊田医師(写真左)と加島医師(写真右)が発表してまいりました。2人が成子センター長と撮影した記念写真を掲載させていただきました。

学んだことを持ち帰り、臨床に活かして患者さんや先生方、地域医療のお役に立てるように、さらに有用な臨床研究の成果を院外に発信できるように日々努力しております。

また当科では地域医療機関の先生方に、当院の最新の治療についてのご報告を心掛けています。

2月に開催された大阪市東部ハートカンファレンスでは、成子センター長より、当院での開始2年間の経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の成績についての報告と、これからのTAVI治療の展望について、また、占野医長からは当院での心房細動についての成績や問題点などについて報告させていただきました。講演会では、活発なご討議やご質問を頂き、懇親会では先生方からの生のご意見をお聴きすることができ、我々にとりましても大変有意義な時間でした。

今後も先生方の生のご意見をお聞きし、臨床に反映させていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるようになるため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。